

令和3年度 事業報告書

第一章 事業の報告

第二章 財務の概要

学校法人 平成学園

第一章 令和3年度事業の報告

1. 事業概要について

教育事業では前年に引き続き入学前学習を行い、入学年度の学習意欲の向上に努めた。また、看護師国家試験では卒業生 58 名中 54 名が合格した。事務事業ではコロナ禍の中で工夫したオープンキャンパス等を実施した結果、入学試験の結果 69 名の入学生を確保することができた。

新型コロナ対策を継続しながら、4月から新年度をスタートすることができた。実習においては、県内の警戒レベルを鑑みながら、感染防止と学修活動の両立を図ることができた。病院実習に近い形で各教員が工夫をこらしながら実施した。

2. 教育事業

(1) 教育体制の強化

- ・ 入学前学習を全入学予定者への実施
- ・ 入学予定者への入学前オリエンテーションの実施、保護者同伴面接の強化
- ・ 1年生への学習支援の強化を図った。
- ・ 国家試験対策として模擬テストや実力テストを全学年対象に実施
- ・ 3年生には様々な専門業者による国家試験勉強のガイダンスを実施し、試験対策の強化を図った。
- ・ 卒業生の国家試験未合格者に対して面接を実施し、さらに学内にて国家試験模擬テストと個別指導を実施した。
- ・ 第111回看護師国家試験は令和3年度卒業生 58名中 54名合格(合格率 93.1%)、既卒者においては6名中1名合格(合格率 16.7%)

(2) 看護教育の向上

- ・ 群馬県主催の看護教員研修に参加
- ・ 看護教育を充実させるため、看護教員養成課程へ1名受講させた。

(3) 教育用備品購入

- ・ ハイブリッドシミュレーター、新生児バイタルサインモデル
- ・ 新カリキュラムに備えて、教職員用 ipad の購入

(4) 新型コロナ対策

- ・ 連絡用アプリを全学生がインストールし、出席して掲示板を見なくても確実に情報が行き閲覧したかどうか確認ができるようにした。
- ・ リモートと対面授業の双方活用による密の回避、昼食の個人飲食の徹底換気と空気の流れに気を使い、二酸化炭素濃度の計測も随時行った。
- ・ 学生に学校対策の趣旨を徹底させ、健康・行動チェックを行った。

3. 事務事業

(1) 学生募集対策

- ・ 高校訪問及びガイダンスを積極的に実施し、学生確保に努めた。
- ・ オープンキャンパスを開催(7月2回、9月中止)
オープンキャンパスでは関連病院等にご協力いただき病院紹介と奨学金の説明を実施した。また、新型コロナ感染拡大により中止になった9月のオープンキャンパス分は参加予定者に資料等を郵送し、個別見学等により受け入れ対応した。

(2) 入学試験について

- ・本校の特徴的な奨学金制度を広く広報できる病院推薦入試を実施
- ・入学試験受験者は 92 名(指定校推薦 25 名、病院推薦 31 名、公募 9 名、社会人 12 名、一般 15 名)
- ・令和 4 年度入学者は 69 名(31 回生)

(3) 進路関係

卒業生のうち就職希望者全員が医療機関へ就職

4. 施設設備

- (1) 新カリキュラムに備え、校内 LAN 環境を整備した。

5. 補助金関係

- (1) 群馬県私立学校教育振興費補助金(専修・各種学校分) 6,465,000 円
- (2) 群馬県看護師養成所演習設備整備事業 1,925,000 円
- (3) 看護師養成所運営費補助事業(太田市) 5,621,000 円
- (4) 群馬県私立専門学校授業料減免負担金 15,351,100 円

6. 質的向上

- ・学校評価の更新
- ・高等教育の修学支援制度認定校の継続

第二章 財務の概要

1. 令和3年度決算の概要

資金収支決算における次年度繰越支払資金は前年 2.0%減の 738,097,556 円となった。単年度収支を示す事業活動収支決算については経常収支差額が 6,553,335 円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額は 4,628,336 円の支出超過となった。基本金組入後の当年度収支差額は 28,011,597 円の支出超過となり翌年度繰越収支差額は 86,023,741 円の収入超過となった。また、令和3年度末の貸借対照表では資産から負債を差引いた正味財産は 1,242,238,356 円となった。

2. 資金収支決算

令和3年度における資金収入は予算に対し、729,400 円増の 303,870,400 円となった。資金支出は前期末未払金があり予算に対して 8,460,269 円増の 318,864,269 円となった。令和3年度における資金増減額は 14,993,869 円の減額となり、次年度繰越支払資金は 738,097,556 円となった。

[資金収支計算書]

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
前年度繰越支払資金	730,000,000	753,091,425	△ 23,091,425
資金収入	303,141,000	303,870,400	△ 729,400
資金支出	310,404,000	318,864,269	△ 8,460,269
次年度繰越支払資金	722,737,000	738,097,556	△ 15,360,556

※差異は予算-決算で示している。(予算より増加していると△)

令和3年度資金増減額(資金収入-資金支出)=14,993,869円減

3. 事業活動収支決算

教育活動における収支状況を示す教育活動収支差額が 6,553,563 円の支出超過となり、教育活動外収支を差し引いた経常収支差額が 6,553,335 円の支出超過となった。また、特別収支差額は 1,924,999 円の収入超過で基本金組入前当年度収支差額は 4,628,336 円の支出超過となった。基本金組入後の当年度収支差額は 28,011,597 円の支出超過となり、翌年度繰越収支差額は 86,023,741 円の収入超過となった。

[事業活動収支計算書]

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
教育活動収入	247,580,000	247,819,935	△ 239,935
教育活動支出	263,524,000	254,373,498	9,150,502
教育活動収支差額	(△ 15,944,000)	(△ 6,553,563)	(△ 9,390,437)
教育活動外収入	1,000	228	772
教育活動外支出	0	0	0
教育活動外収支差額	(1,000)	(228)	(772)
経常収支差額	(△ 15,943,000)	(△ 6,553,335)	(△ 9,389,665)
特別収入	1,950,000	1,925,000	25,000
特別支出	0	1	△ 1
特別収支差額	(1,950,000)	(1,924,999)	(25,001)
基本金組入前当年度収支差額	△ 13,993,000	△ 4,628,336	△ 9,364,664
基本金組入額合計	△ 7,200,000	△ 23,383,261	16,183,261
当年度収支差額	△ 21,193,000	△ 28,011,597	6,818,597
前年度繰越収支差額	70,900,000	106,447,473	△ 35,547,473
基本金取崩額	0	7,587,865	△ 7,587,865
翌年度繰越収支差額	49,707,000	86,023,741	△ 36,316,741

※差異は予算-決算で示している。(予算より増加していると△)

4. 貸借対照表

令和3年度末における資産は1,266,474,498円、負債は24,236,142円、資産から負債を差し引いた純資産は1,242,238,356円となった。

[貸借対照表]

(単位:円)

科目		令和3年度末	令和2年度末	増減	
資産	固定資産	492,056,734	507,286,658	△ 15,229,924	
	流動資産	774,417,764	778,060,195	△ 3,642,431	
	計	1,266,474,498	1,285,346,853	△ 18,872,355	
負債及び純資産	負債	固定負債	1,450,575	1,348,401	102,174
		流動負債	22,785,567	37,131,760	△ 14,346,193
		計	24,236,142	38,480,161	△ 14,244,019
	純資産	基本金	1,156,214,615	1,140,419,219	15,795,396
		繰越収支差額	86,023,741	106,447,473	△ 20,423,732
		計	1,242,238,356	1,246,866,692	△ 4,628,336
計		1,266,474,498	1,285,346,853	△ 18,872,355	

5. 財務分析

(1) 事業活動収支計算書関係比率 (単位%)

(単位:%)

分類	比率名	評価	算出方法	H29	h30	R1	R2	R3	全国平均
収入関係	学納金比率	~	学生生徒等納金/経常収入	92.5	93.2	92.4	76.5	86.7	80.9
支出関係	人件費率	↓	人件費/経常収入	64.9	68.4	66.9	66.1	65.5	43.2
	教育研究費比率	↑	教育研究費/経常収入	23.6	23.9	23.0	23.1	26.7	47.9
収支状況	事業活動収支差額比率	↑	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	0.0	△ 0.8	△ 1.2	1.9	△ 2.0	23.1
	基本金組入後収支比率	~	事業活動支出/(事業活動収入-基本金組入額)	105.8	109.6	113.6	105.1	125.3	120.6

(注) 評価欄の矢印は、「↑高いほうが良い」、「↓低いほうが良い」、「~どちらとも言えない」を示す。

(2) 貸借対照表関係比率 (単位%)

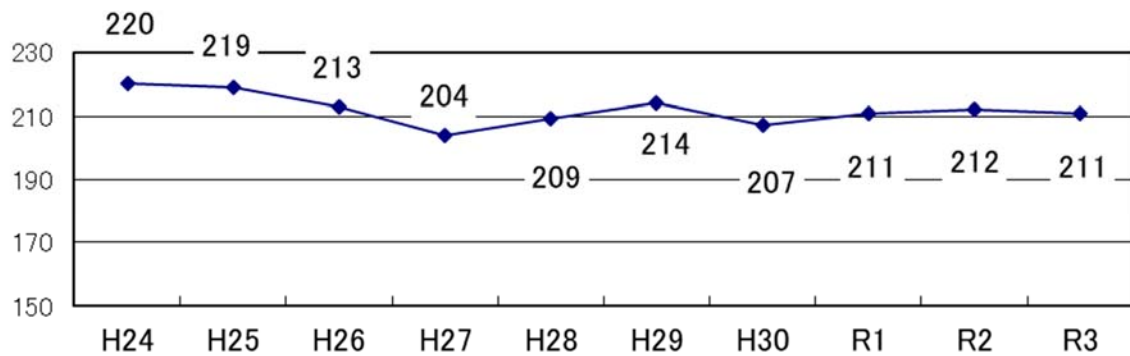
(単位:%)

分類	比率名	評価	算出方法	H29	H30	R1	R2	R3	全国平均
資産構成	固定比率	↓	固定資産/純資産	40.9	41.3	40.6	41.2	39.6	94.6
	固定資産構成比率	↓	固定資産/総資産	40.2	40.2	39.6	40.2	38.9	77.5
	流動資産構成比率	↑	流動資産/総資産	59.8	59.8	60.4	59.8	61.1	22.5
負債割合	負債比率	↓	総負債/純資産	1.8	2.5	2.5	3.1	2.0	22
繰越収支差額の変動	繰越収支差額構成比率	↑	繰越収支超過額/(総負債+純資産)	10.0	9.5	8.7	8.4	6.8	9.8
自己資金の充実関係	純資産構成比率	↑	純資産/(総負債+純資産)	98.2	97.5	97.5	97.0	98.1	82

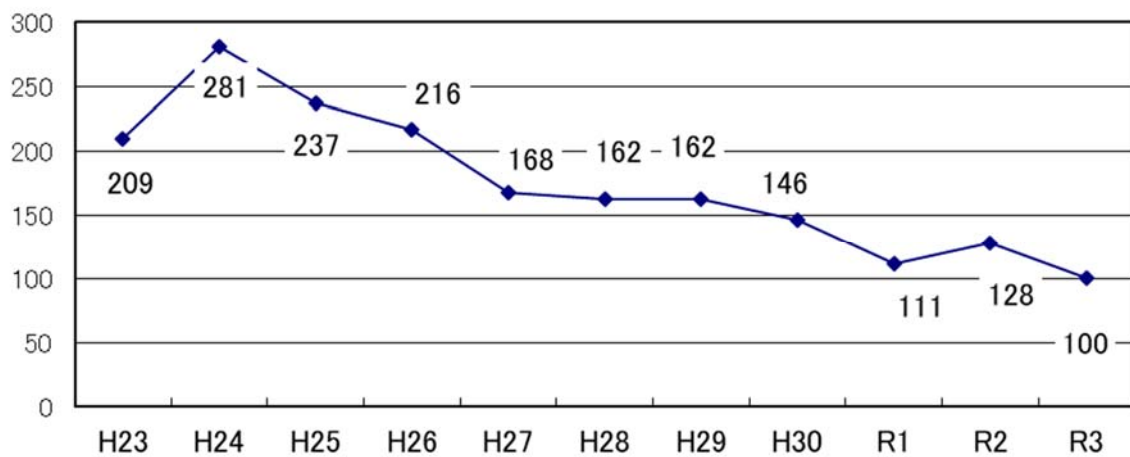
(注) 評価欄の矢印は、「↑高いほうが良い」、「↓低いほうが良い」、「~どちらとも言えない」を示す。

6. 学生数・志願者推移表

(1) 学生数の推移（基準日は5月1日）



(2) 志願者数の推移



7. 教職員数推移表（基準日は5月1日）

